

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第一小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校第6学年、全児童

実施児童数(66人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層、下位層がやや多い。

平均正答率(本校 70/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率(本校 48/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことに課題がある。</p> <p>1 学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する。(59.1/69.2)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに課題がある。</p> <p>3 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する。(66.7/74.4)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることに課題がある。</p> <p>5ア 三度目の正直 (84.8/90.0)</p> <p>5イ もちはもち屋 (72.7/83.6)</p> <p>○古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことに課題がある。</p> <p>6 【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する。(57.6/71.1)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題がある。</p> <p>7(1) 参加たいしょう (18.2/42.0)</p> <p>7(5) 箱がおいてあります (68.2/76.8)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに課題がある。</p> <p>1三 折り紙のみりょくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く (27.3/48.4)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。</p>	<p>2三 「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の「イ」に入る内容を、中学生からのアドバイスを基に書く (12.1/33.0)</p> <p>【書くこと】【読むこと】</p> <p>○物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>3三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く (28.8/43.8)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校 (H29)	全国 (H29)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	59.4	60.5		1.1
国語の勉強は大切だと思いますか	89.8	91.2		1.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	86.9	82.2		4.7
読書は好きですか	66.7	74.3	◇	7.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.3	87.9		3.4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	62.3	68.0	◇	5.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	69.5	63.4	◇	6.1
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	75.4	74.8		0.6
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	65.2	77.2	◇	7.0

○「国語の勉強は好き」と感じている割合が、全国と比べて昨年度より差が縮まった。

(H28 : 52.3)

○「読書は好き」と感じている割合が全国と比べて低いが、昨年度より増加した。

(H28 : 60.0)

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答している割合が全国と比べて低いが、昨年度より増加した。

(H28 : 50.8)

○「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」と回答している割合が増加し、全国を上回った。

(H28 : 64.7) (H28 : 73.8)

○「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が全国と比べて低く、記述式の問題でも無答率が高かった。

(H28 : 64.6)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層、下位層がやや多い。

平均正答率(本校 75/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率(本校 40/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○四則計算をはじめ、数の計算については概ねできている。</p> <p>2 (2) 10.3+4を計算する (82.1/79.7)</p> <p>3 8と12の最小公倍数を求める (88.1/86.2)</p> <p>【量と測定】 ○任意単位の測定について課題がある。</p> <p>4 ものの重さや長さを同じ大きさのいくつかで比べているものを選ぶ (65.7/70.7)</p> <p>【図形】 ○正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることや立方体の面と面の位置関係の理解について課題がある。</p>	<p>6 円を使って正五角形を書くとき、円の中心のまわりの角を何度ずつにすればよいか (68.7/75.5)</p> <p>7 立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ (80.6/86.7)</p> <p>【数量関係】 ○資料を二次元表に分類整理し、合計欄に入る数を求めることに課題がある。</p> <p>9 (1) 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るか (79.1/88.0)</p> <p>9 (2) 二次元表の合計欄に入る数を書く (47.8/62.8)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】【数量関係】 ○問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することに課題がある。</p> <p>1 (3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く (25.4/38.6)</p> <p>【量と測定】【数量関係】 ○飛び離れた数値を除いた場合の平均を求めることや示された数値を基準とした場合の平均を求めることに課題がある。</p>	<p>3 (1) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ (58.2/67.9)</p> <p>3 (2) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める (10.4/26.1)</p> <p>【数量関係】 ○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことに課題がある。</p> <p>4 (2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ (19.4/29.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校 (H29)	全国 (H29)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	69.5	65.9		3.6
算数の勉強は大切だと思いますか	89.8	92.0		2.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	88.4	80.6	◇	7.8
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	79.7	75.7		4.0
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	87.0	81.1	◇	5.9
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	78.3	69.1	◇	9.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	78.3	89.1	○	10.8
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.7	81.4		1.7
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	82.6	82.6		0.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.5	86.0		0.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	68.1	69.9		1.8

○「算数の授業内容はよく分かる」と感じている割合が、昨年度より増加し、全国を上回った。

(H28 : 86.1)

○「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答している割合が、昨年度より増加し、全国を上回った。

(H28 : 83.0) (H28 : 64.6)

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思っている児童は、昨年度よりも低下し、全国も下回った。

(H28 : 90.7)

○「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」との児童の割合が、昨年度より増加し、全国とほぼ同じになった。

(H28 : 72.3)

○「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が向上し、全国とほぼ同じになったが、記述式の問題では無答率が高かった。

(H28 : 52.3)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○テレビを見る時間や携帯電話・スマートフォンでの通話やメールの時間が長い。	○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間, テレビゲームをする時間は除きます。) 2時間以上の割合 < <u>72.4/55.7</u> >
		○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。) 1時間以上の割合 < <u>41.9/20.5</u> >
		○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。 < 52.1/58.3 >
	○地域の行事への参加率が低い。	○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 < <u>44.9/62.6</u> >

<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○家庭での学習の時間が短い。</p> <p>○読書の時間が短い。</p>	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)</p> <p style="text-align: right;">1時間以上の割合<43.4/57.3></p> <p>○学校の授業の復習をしている。 <44.9/53.8></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)</p> <p style="text-align: right;">30分以上の割合<30.3/36.5></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○話し合う活動は少ないが、効果的な話し合い活動ができている。</p> <p>○自分の考えを整理して発表することが弱い。</p> <p>○授業におけるノート指導は概ねできている。</p> <p>○書くことの指導が弱い。</p>	<p>○授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。 <73.9/84.5></p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 <79.7/68.2></p> <p>○授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。 <59.4/64.9></p> <p>○授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う。 <94.2/88.7></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい。 <72.4/59.5></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から見てきた本校児童の学力実態を踏まえ、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標として、研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、授業改善を図っている。

授業改善の取組みについては、校内研究委員会において協議し、以下の取組みをすすめている。

- ①「泉佐野スタンダード～泉佐野市の学力向上に向けて～」を参考にして、学習の準備等の学習規律を統一して指導するため、「一小スタンダード」を決め、安心して学べる環境づくりに努めている。
- ②小中連携し、チャイムによる行動・着席の徹底を図り、学習に取り組む姿勢をつくっている。
- ③3～6年生の算数科において、少人数習熟度別指導を行い、一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かな指導で、基礎・基本の定着を図るとともに、活用力を高める取組みをすすめている。
- ④ノート指導においては、図や式を用いた説明、自分の言葉で考え方を書き、振り返りができるノートづくりをすすめ、工夫しているノートを全体にも紹介している。
- ⑤スキルアッププリントでの繰り返し学習や計算大会を行う中で、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、達成感が持てるよう努めている。
- ⑥「話し方、聞き方」や「発表の仕方」について教室掲示し、話すこと、聞くことについて統一した指導を行い、共感的に受けとめることを大切にしている。
- ⑦相互参観や公開授業参観を積極的に行い、指導力向上に努めている。

また、一小校区福祉委員会や地域の方のご協力をいただき、田植え・稲刈り体験、芋苗植え・芋掘り体験や昔遊び体験等のさまざまな体験活動に取り組む中で、「自分にはよいところがある。」と回答した児童が75.4%(全国77.9%)、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した児童が88.4%(全国92.5%)で、全国の平均より若干下回っているが、昨年度よりそれぞれ9.2%、6.9%増加しており、取組みの成果も表れている。

◎これからの取組み

今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析して、これまでの本校の課題を改善するためには、以下のことに取り組んでいく。

I 指導方法の工夫改善

- ①国語科において、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことや場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題があることから、理由の述べ方や箇条書きにまとめることなどのスキルを身につける学習に取り組む。
- ②算数科において、二つの数量関係を一般化して捉え、きまりを記述することや仮の平均の考え方など示された数値を基準とした場合の平均を求めることに課題があることから、授業の中で、さまざまな考え方を述べ、それぞれの利点を理解する授業づくりをすすめる。
- ③学習の準備等の学習規律を統一して指導するために決めた「一小スタンダード」のさらなる徹底を図る。
- ④ノート指導を継続的に重視し、まとめ方や説明の書き方などのスキル面の重点指導を行う。

II 知識・技能の習得

- ①国語科において、ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることや漢字を正しく書くことに課題があることから、授業の導入等での復習なども行いながら定着を図る。
- ②算数科において、資料を二次元表に整理するなど4年生以前の既習内容について課題があることから、スパイラルな学習を取り入れ定着を図る。
- ③読書時間が短いことに課題があることから、朝の読書や読み聞かせを継続的に行い、読む力、聞く力を高める。
- ④算数における校内計算力テストを4月と2月に実施するとともに、朝学習や昼学習での基礎的な計算を中心とした学習や学期ごとの計算大会を継続的に実施し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。